

# いのはな便り

肺がん CT 検診認定機構メールマガジン  
第4号 (2014年8月)

## 肺がんCT検診は発見から予防の時代へ

東京都予防医学協会  
金子昌弘

がん検診とそれを取り巻く環境は、現在大きな転機を迎えているように思われます。

### 【第一世代のがん検診・治療】

十数年前まではがん治療に関しては、根治性が最優先され、検診発見の無症状のがんに対して、肺の一葉切除、胃の大半の切除、子宮全摘、大胸筋を含んだ乳房切除、人工肛門造設が標準で、治療後に多少の後遺症を残すのはやむを得ないという考えが主流でした。これは第一世代のがん検診・治療とすることができます。

### 【第二世代のがん検診・治療】

その後、より小さな腫瘍が発見できるようになったこともあり、消化管での内視鏡治療や、乳がんでの乳房温存治療、子宮頸がんでの円錐切除など機能温存の考えが主流になり、肺がんでも早期の肺門部肺がんに対するレーザー治療や、胸腔鏡での縮小手術が行われるようになりました。これは第二世代と呼ぶことができるかと思います。

### 【第三世代のがん検診・治療】

さらに最近では、胃がんと子宮頸がんにおいてその原因が明らかになり、胃がんではピロリ菌の除去、子宮頸がんでは HPV ワクチン接種で発がんを抑えるという方向に変化してきました。一方、大腸では徹底的にポリペクトミーを行うとその後のがんの発生率が下ることがわかりました。これらはがんの発生予防につながる、第三世代のがん検診・治療と位置付けることができるでしょう。

### 【肺がんにおける第三世代の検診・治療】

肺がんの原因として、扁平上皮がん、小細胞がん、低分化腺がんでは喫煙が原因であることが明らかです。微小な GGN は高分化腺がんの前がん状態、あるいはハイリスクであることも明らかになりました。従って、肺がん検診においても、単に早期の肺がんを見つけるだけでなく、禁煙指導と連携し発がんの抑制や、前がん状態を発見しがんへの進展を予防する検診にむかうことが、肺がんにおける第三世代の検診と考えられます。

喫煙者のCTでは明らかに肺気腫や線維化の所見が増えていますので、がんを直接疑う所見がなくても、これらの画像を示して禁煙指導を行うことは喫煙率低下に貢献

するといわれています。即時的な効果は期待できないかもしれませんが、他の喫煙による障害も予防できますので、総合的な健康増進効果は高いものと思われます。

一方、GGNに対する、より低被ばくでの経過観察方法や非観血的な診断・治療も研究されてきています。過剰診断・治療の弊害を取り除くためにも、つねにこれらの最新の技術や知識を取り入れた適切な診断や指導を行うことが必要です。

検診により肺がん死亡減少を目指すには、予防から、診断・治療に至る幅広い知識と技量を備えた認定医師の方々が全国津々浦々に広がり、受診者がどこでも安心して精度の高い検診を受けられる環境づくりが重要です。

今後も皆様方の日々のたゆまぬご研鑽や後進の育成に心から期待しております。

この拙文は、第7回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会の抄録集に書いたものを一部改編したものです。今回更新のために受講される方々にはご覧いただけますが、それ以外の方には目に触れる機会がないので、この場をお借りして掲載させていただきました。

---

## 講習会などのお知らせ

### 第7回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日時：平成26年8月31日（日）

会場：富士ソフト アキバプラザ5階 アキバホール（東京都）

すでに定員に達しましたので、締め切らせていただいております。

また、2月の大阪での日本CT検診学会学術大会に併設して第8回の講習会も行う予定です。

今後、施設認定が始まりますと、認定医、認定技師の在籍が必要になりますが、どちらかの講習会を受講しないと認定医の資格を失う方が、認定番号829番までの中で、293名いらっしゃいます。今回受講できなかった方は2月の講習会をぜひお受けになりますようお願いいたします。

### 第17回肺がん画像診断セミナー in DAIBA

日時 2014年9月14日～15日

場所 ホテルグランパシフィック LE DAIBA（東京都、お台場場）

世話人： 神奈川県立がんセンター 山田 耕三

<http://odaiba-haiganseniner.kenkyuukai.jp/event/>

本セミナーは、肺がんの特化し、CT画像、CXRを中心に読影演習と胸部CT、CXRの読影の基礎を徹底的に勉強します。本セミナーは当機構の副代表

理事の江口研二先生が代表世話人ですので認定医、認定技師の方々は奮ってご参加ください。

### **第5回 肺がんCT 検診認定技師 更新講習会**

日時 2014年11月1日(土曜)

場所 国立がん研究センター 中央病院

<http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/koushin/kousyukai/index.html>

受講申し込みはすでに終了しています

### **第29回 肺がん集検セミナー**

日時 2014年11月16日(日曜)

場所 国立京都国際会館 第8会場

世話人：祖父江友孝(大阪大学大学院医学系研究科環境医学 教授)

<http://jlcs55.umin.jp/seminar.html>

第55回日本肺癌学会学術集会に併設して行われますが、単独でも参加可能です。

\*\*\*\*\*

#### **編集後記：**

8月に入ってからの四国での集中豪雨に続き、広島市での甚大な土砂災害と、連日のように悲惨な状況が報告されております。お亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りするとともに、認定医・認定技師の皆様方ご自身はじめ、ご関係の皆様方のご自宅、職場などに被害のないことを願うばかりです。

おりしも広島県では県をあげて肺がん検診へ低線量CTを導入する動きが始まっていると聞いていますが、これらの活動にも支障が出ないことを願っております。

さて、今月は、先月の認定技師の認定試験・更新講習会に続き、認定医師の認定講習会および更新講習会が開催されます。そこで使いますテキストのあいさつ文を、こちらにも掲載いたしました。この内容については、6月の人間ドック学会の講習会でもお話ししましたので、お聞きになったかたもいらっしゃるかもしれませんが、がん死亡をゼロにする究極の方法はがん患者の発生をゼロにすることです。

肺がん検診を、単に肺がんを早く見つけるだけでなく、禁煙指導の場とすることで、肺がんの発生自体を予防する場にしたいものです。

「いのはな便り」では皆様方のちょっとした撮影や読影に関する提案や質問なども受け付けております。ご意見・質問などありましたら是非お気軽に事務局までおよせください。(文責：金子昌弘)

---

いのはな便り 第4号 2014年8月27日発行  
〒260-0856 千葉市中央区亥鼻3-6-6 イノハナビル3階  
有限会社エッセン内 「肺がんCT 検診認定機構事務局」  
編集責任者 金子昌弘  
TEL : 043-226-1298  
FAX : 043-226-1299  
E-mail: jimdai@ct-kensin-nintei.jp  
WEBSITE: <http://www.ct-kensin-nintei.jp/>